

令和4年度

松陰高等学校（通信制）評価 総括

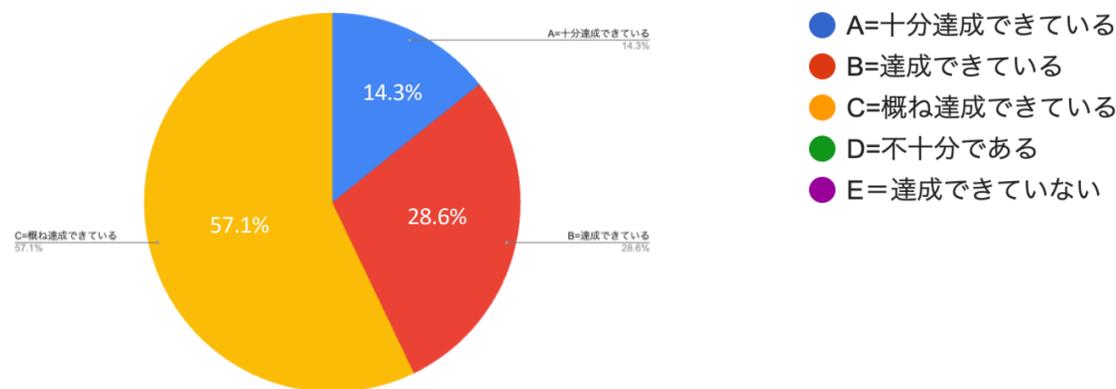
令和5年3月31日

【重点項目】 生徒一人ひとりの継続的な学習の習慣化と学力の向上

【重点目標】

- ・スクーリング・レポート作成・テストへの個別指導の充実と教科内容の理解
- ・学習状況の定期的確認と生徒・保護者への連絡
- ・「学習の手引き」の有効な活用
- ・個別面談の充実と進路実現へのサポート

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

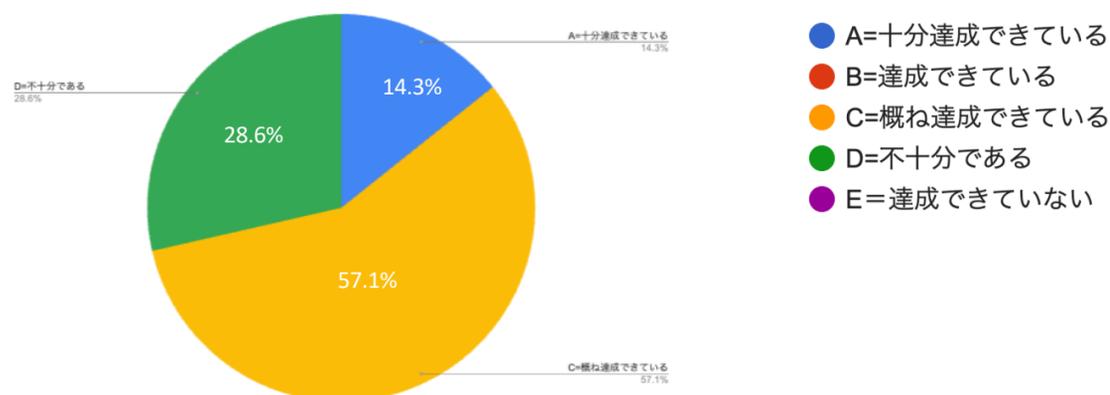
- 定期的な指導、対応はできている。スクーリング時以外での生徒対応を更に充実させる。
- 比較的自由的な登校時間でスクーリングを実施できるという学校の特色を活かしながら、個別指導の充実と、各生徒が教科内容を理解するための方法をより模索していきたいです。
- 概ねできてはいるが、新型コロナのこともあり個別面談がなかなかできていなかった。今後は個別面談等を充実させる。
- 概ね達成できていたが、個々の生徒に対してのスクーリングや個別指導の行い方を、今後とも工夫し充実させていく必要がある。
- スクーリングに対しての教員の姿勢の改善、生徒獲得への熱意を押し上げたいです。

【重点項目】 望ましい職業感の育成

【重点目標】

- ・一人ひとりへのきめ細やかな進路指導の充実
- ・進路ガイダンス・個別面談の質の向上

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

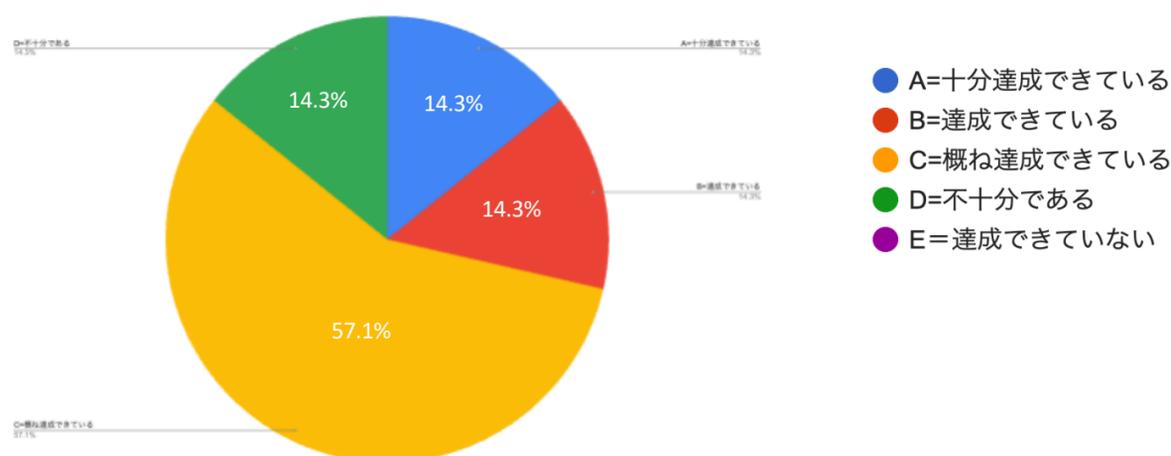
- 進学に対する進路指導はできている。就職に対しての指導の充実を図る。
- 個々での適性や学力などを見ながら具体的な進路先の決定や、それに向かった学習プラン・入試制度の提案するために、面談を実施していきたいと思います。
- 進路ガイダンスや個別面談はなかなかできていない部分があったが、今年度より外部の講師をお招きし、適性診断等の出張授業をしていただくよう改善、取り組み中である。
- 適学適職検査を行い、その結果をもとに個別に面談を行うことで職業観の育成を図った。
- 次年度以降も、このような適学適職検査等を活用していきたい。

【重点項目】 基本的な生活習慣と規範意識の確立（学校生活の安心と安全）

【重点目標】

- ・ 社会性と公共心の育成、規範意識の高揚
- ・ 教職員の共通理解による生徒指導体制の充実

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

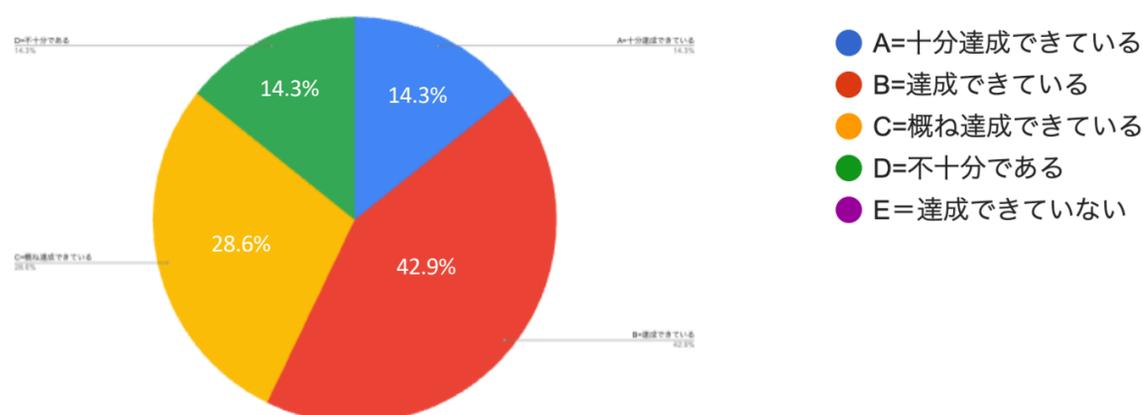
- 社会性、公共性を育む機会を更に充実させていく。
- 特別活動や、日々の登校の中で、教職員・生徒同士でコミュニケーションを取り、社会性や公共心の育成は図れたのではないかと思います。個々の事情や状況もあり、基本的な生活習慣が確立されているかという点については、保護者連携も含め、まだまだ改善の余地があるように思いました。生徒の状況を共有し、どのように指導していくかという指針については、教職員それぞれで経験や、指導方法、視点にバラつきがあったため、同じベクトルにできるように相互理解や協力が必要だと感じています。
- 一緒に働く教職員間で綿密に生徒の情報共有しているので、指導に活かすことができている。
- 校外学習等で公共施設や学外で活動をすることで、社会的なマナーや公共心を育んできた。
また、教職員間でこまめに情報共有をすることで指導体制の充実を図った。
次年度についても継続して活動を通じての社会性、公共心の育成や教職員の生徒指導体制の充実を図っていく。
- 教職員間の価値観の違いも多くあると感じたため、次年度はまず教員の意識改革から始めていきたい。

【重点項目】 健全な心身の育成

【重点目標】

- ・心のケアを通して学校生活を援助する体制作り
- ・教育相談体制の充実
- ・校外学習や宿泊学習を通して心身の充実や道德教育の充実
- ・ボランティア活動を通しての奉仕精神の育成

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

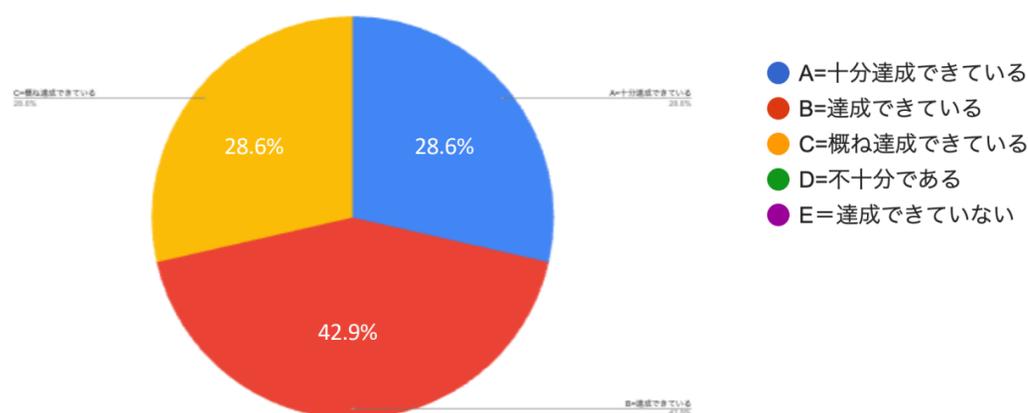
- 生徒が自分の話や相談をしやすい環境づくりを更に進めていく。
- 特に大きな心のケアが必要な生徒はいなかったとは思いますが、日々の登校の中で、生徒それぞれの状況把握をすることで、抱えている悩みや問題点などを職員全体で共有することはできたのではないかと思います。
- 心のケア等の体制作りはできている方だが、宿泊学習やボランティア活動等はなかなかできていない状況である。徐々にそういうものも増やしていくことが必要だと考える。
- 新型コロナウイルスの影響がある中でも、工夫して校外学習やボランティア活動を行うことで、少しでも豊かな学校生活を送ることができるようにしてきた。
今後の課題としては、スクールカウンセラーを利用するなどの心のケアの体制の充実を図る必要がある。
- 登校数の多い生徒には、かなり積極的にするようにはしました。次年度は、校外学習を実施して更に関係性を深めていきたいと思えます。

【重点項目】 保護者及び家庭との連携

【重点目標】

- ・ 不登校、転編入生など多様な生徒への指導
- ・ 生徒に関する諸問題の解決を図るための家庭との連携強化

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

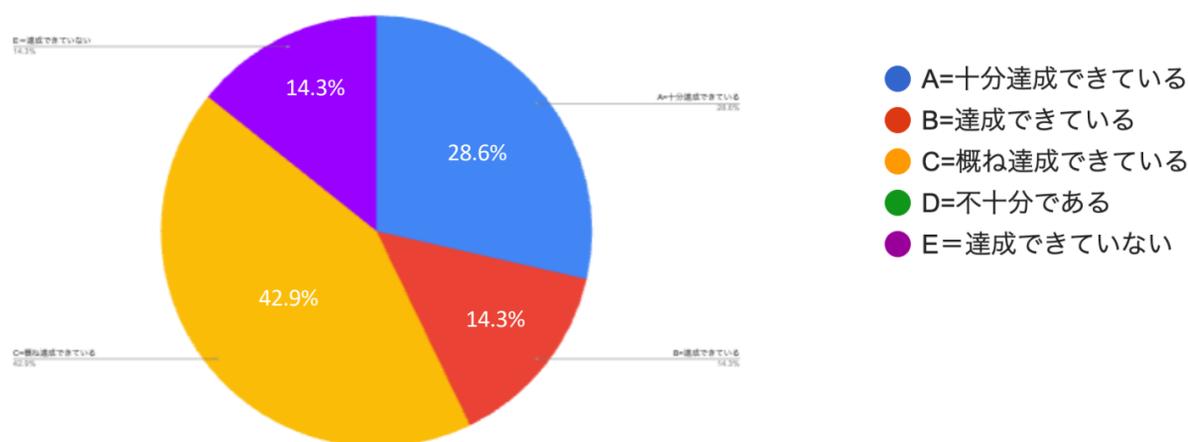
- 問題を抱える生徒へのセーフティネットとしての役割を全うしていく。
- 月一回の学校通信に加え、単位修得や生徒の状況を分かりやすく共有できるようにLINEを開設し、保護者との連携が非常にしやすくなったのではないかと思います。また、LINEに加え、電話にて相談を受け付けたり、保護者連携においてはこまめに対応できていると思います。
- 引き続き保護者との連携を強化し、生徒への指導に活かしていきたい。
- 例年と同じく、多くの転編入生が入学しており、それぞれの状況に応じた対応や指導を行ってきた。今後も個々の状況に応じた対応、指導をしていくことが課題である。
- LINEだけでなく直接電話対応などに心掛けていく。このまま続けていきたい。

【重点項目】 郊外活動への積極的な参加

【重点目標】

- ・ 自然や地域との触れ合いを図るための企画内容の検討
- ・ 特別教育活動への自主的参加奨励
- ・ ボランティア活動への積極的な参加奨励

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 様々な機会を更に充実させていく。
- 校外活動を企画しても、あまり生徒が参加しない状況から、令和4年度に関しては少しずつ改善されるようになりました。体育をはじめ、特別活動については後期以降からは積極的に参加する生徒が増えてきており、社会とつながる活動への企画・参加を促進していく土台ができたのではないかと考えています。
- 都心部ということもあり、地域との連携やボランティア活動への参加ができていない部分がある。自然のふれあいができるような企画をしていきたい。
- 昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染予防対策をしたうえで校外学習やボランティア活動を行ってきた。その際に、生徒には声掛けを行い、積極的な参加を促した。

【評価項目】 教務

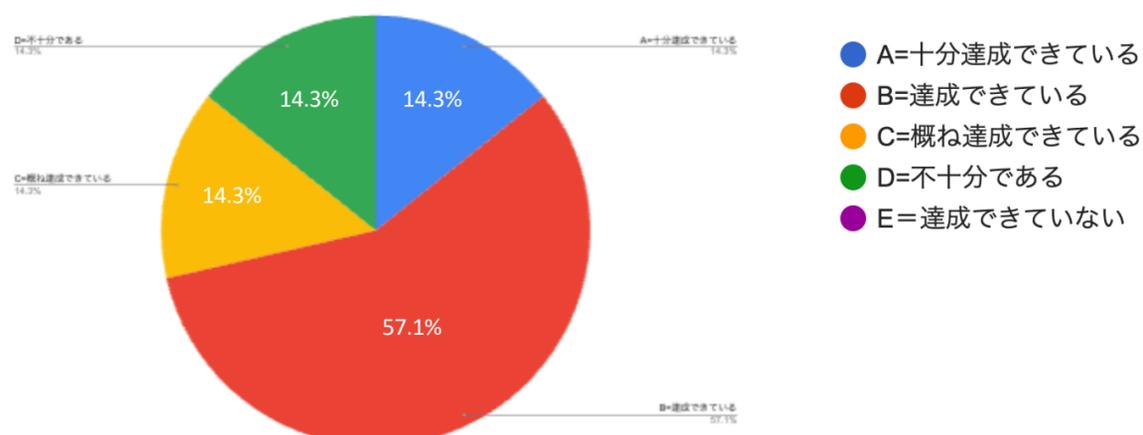
【具体的目標】

- ・生徒一人ひとりが各々の目標を達成できるよう、学校の運営に取り組む。
- ・基礎学力を定着させ、単位 修得に向けての学習の支援 を図る。

【具体的方策】

- ・教科の年間指導計画を作成し、教科教員間の指導の連携と充実を図る。
- ・「学習の手引き」の構成等を検討し、正確で分かり易い内容にする。
- ・スクーリングや校外学習を含む年間指導計画を作成し、生徒が積極的に参加できるようにする。
- ・レポート・スクーリングの状況を定期的に報告し、無理なく学習できる環境を整える。
- ・テストに向けた勉強の支援を行う。
- ・生徒の能力・進路に応じた科目が履修できるような履修科目の設定を考える。
- ・支援システムの効率的な処理ができるようシステムの構築を図る。
- ・家庭との定期的な連絡を通して、生徒の学習状況の把握に努める。
- ・教科担当によるレポートの添削を充実させ、生徒の教科内容の理解を図る。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 学校の根幹部分であるので、更に指導体制を充実させていく。
- 後期に今までのやり方を変えたことによってかなり改善できた。次年度からはやり方をさらに更新して実施したいと考える。

- ほとんどの生徒が期日を守り、履修科目全ての単位を修得できました。また、それが難しかった生徒に対しては、家庭と連携を取り、今後の学習方針などの確認を行い、理解・協力していただきました。指導計画・年間予定については、今後、生徒・保護者・教員が共有でき、常に確認できるような仕組み作りを行う必要があると考えています。
- 進捗状況表を作成し生徒自身にも自己管理させ、今自分がどのくらいスクーリングやレポートを終えられているのか等、意識させ早めに終わらせるよう促している。また、その表は保護者にも月に1回程度学校通信と一緒に送付し、ご家庭でも見てもらえるようにしている。今後も続けていきたい。
- レポートの提出状況やスクーリングの出席状況を定期的に家庭に報告し、状況が芳しくない生徒には提出や出席を促している。

【評価項目】 進路

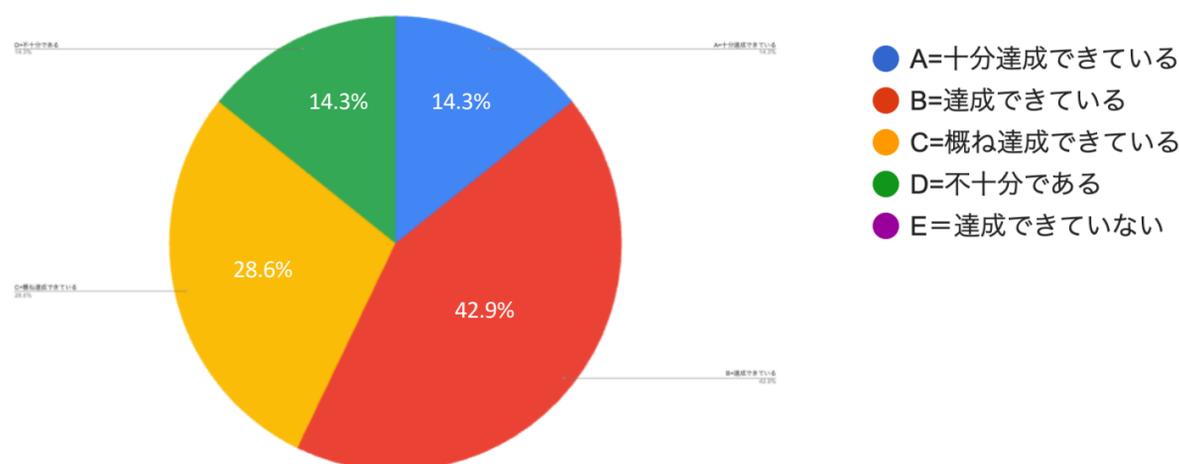
【具体的目標】

- ・ 生徒の進路実現のため、個に応じた学習計画を立て、前向きな姿勢で学習に取り組めるようにする。
- ・ 進路における情報収集を図る。

【具体的方策】

- ・ 自分の興味・関心に気付かせ、それを踏まえて進路の方向性を考えていくようにする。
- ・ 保護者との連携を深め、生徒の進路に関して三者が共有できる環境を整える。
- ・ 進路行事を提供し、自己の進路を考える機会を与える。
- ・ 学年に応じて段階的な進路指導の徹底を図る。
- ・ 個々の生徒の進路相談を充実させるため、進路関係の情報収集、提供に努める。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 生徒が幅広い選択肢から進路を決定できるような情報・機会を更に提供していく。
- 今後の進路が明確に決まっている生徒には背中押し、何も決まっていない生徒には焦らず進めるよう指導していたが、違う角度からの指導の仕方もあったのではないかとと思う部分があったので、その部分が課題である。
- 進路関係についての情報提供が少なかったのではないかと思います。次年度は、一般的な進学に関する知識を広めるためのガイダンス、個々の適性にあわせた進路先の提案や相談といったことに着手して取り組むべきではないかと思っています
- 適学適職検査を活用したり、総合的な探究の時間で進路について考える時間をつくったりするなど、自分の進路に対して向き合う機会を設けている。
また、それらの機会を利用して進路指導を行い、生徒の希望進路につなげている。
- 次年度は担当者を決め、責任を持って行えるようにします。

【評価項目】 生活指導

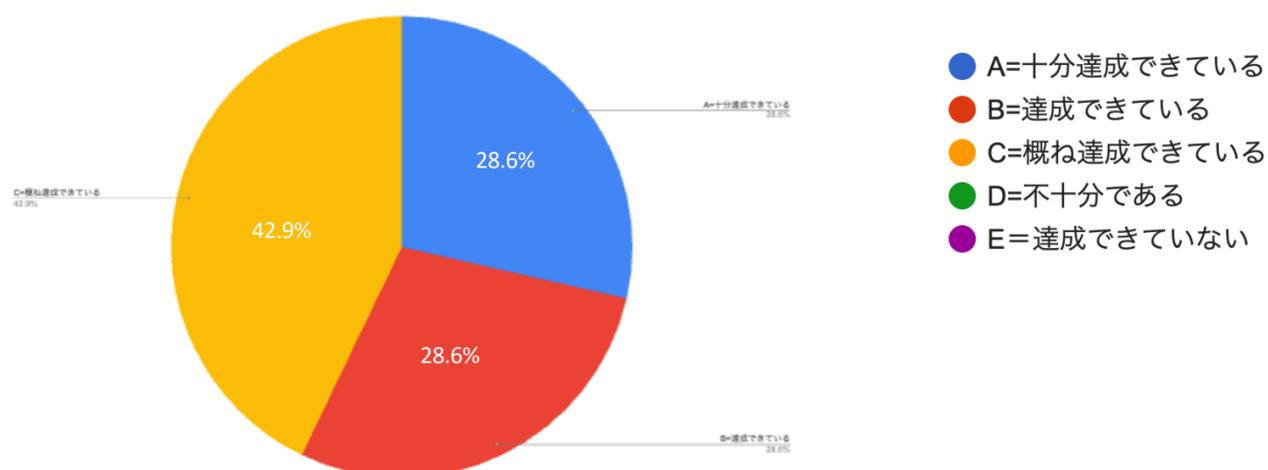
【具体的目標】

- ・ 学習する環境を整える。
- ・ 公共マナーの向上と社会的規範の遵守を図る。
- ・ 思いやりのある心の育成を図る。

【具体的方策】

- ・場をわきまえた行動がとれるように個々への指導を深めると同時に、自分の行動に責任が持てるような人間形成を目指す。
- ・スクーリング、講演、面談などを通して薬物の危険性、有害情報の提供、交通ルールや喫煙マナーなどを指導していく。
- ・人の心の痛みが分かり、思いやりを持った行動がとれるようになる。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 責任を持った行動について考えられる機会、情報提供を充実させていく。
- 生徒指導について、特に大きな問題はありませんでした。団体行動の中で、我関せずといった傍観的な生徒や、自分自身の好き嫌いを優先してしまう生徒が数名いたため、周りをしっかり見ること、自分自身が団体の中で何ができるかを模索して考えることが社会で生きていくために必要であるということを指導していく必要があるかと思いました。
- 以前より学習環境は整っている。社会的規範の遵守等、細やかな指導ができているかと問われれば不十分なところがあるので、何気ない会話の中に取り入れていけたらと考える。
- 基本的な生活習慣を身につけ、校外学習等の活動の際には社会的なマナーやルールを遵守できるよう、指導している。
- 何気ない会話でそのような話がかなり出来たかと感じております。次年度ももっと積極的に機会を設けて話をしていきたいと思っております。

【評価項目】 いじめ対策

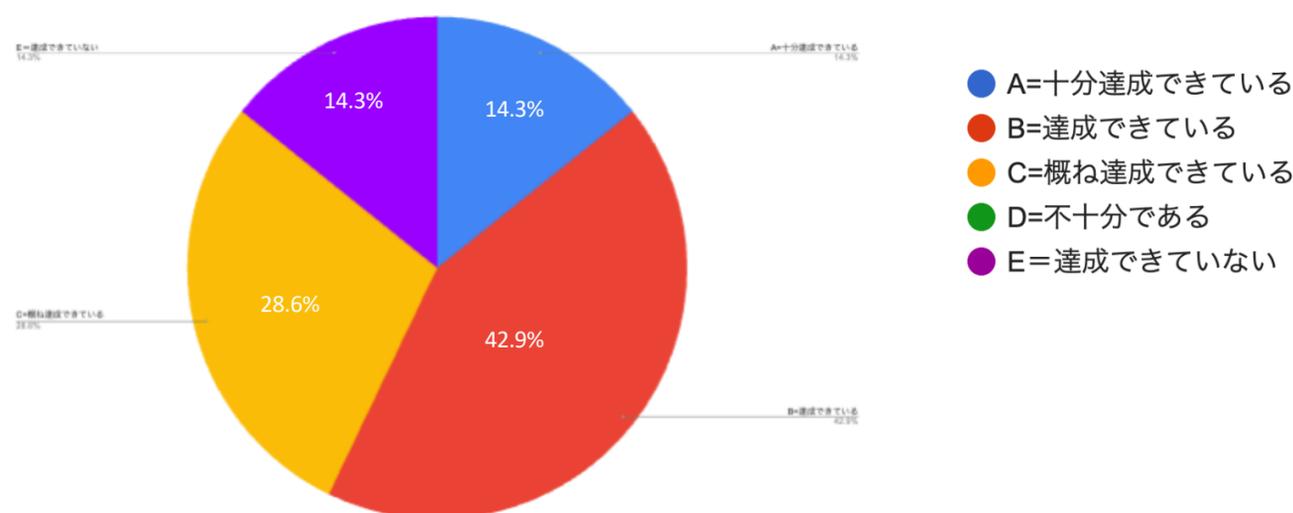
【具体的目標】

- ・ いじめ対策防止基本方針の策定を行い、学校の基本方針を明確にする。
- ・ 教職員間の情報交換を密にし、いじめを未然に防ぐ環境づくりに努める。
- ・ ネットにおける生徒の動向を把握し、情報モラルの指導を行う。
- ・ 外部機関との連携を図る体制づくり

【具体的方策】

- ・ 生徒同士が生き生きと、お互いの良さを認める雰囲気作りに努める。
- ・ 生徒との信頼関係を構築し、生徒の心に寄り添った対応をする。
- ・ 教職員の情報交換を密にし、生徒の理解に努める。
- ・ インターネット等による書き込みを含んだ「いじめ」を未然に防ぐ対応をする。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 生徒・職員共に一人で抱え込まないような環境づくりに努める。
- 生徒同士のいじめはありませんでした。

今後、自由に自分の思いを記入できるSNSや、LINEでの繋がりが増えるに際して、情報モラルの向上や、人とのつながりについて気をつけるべきことなどを指導していく必要があると思います。

- 生徒観察や教職員間の情報交換をこまめに行い、生徒の理解に努めている。今後の課題としては、見えない部分にも気を配り、「いじめ」を未然に防ぐ対応をしていく。

- 今までは生徒間での交流がそもそもあまりなかったため、いじめが発生することもなかったが、現在は和気あいあいと過ごしていることが多いので、気をつけながらも楽しい雰囲気作りに努めます。

【評価項目】 安全健康管理

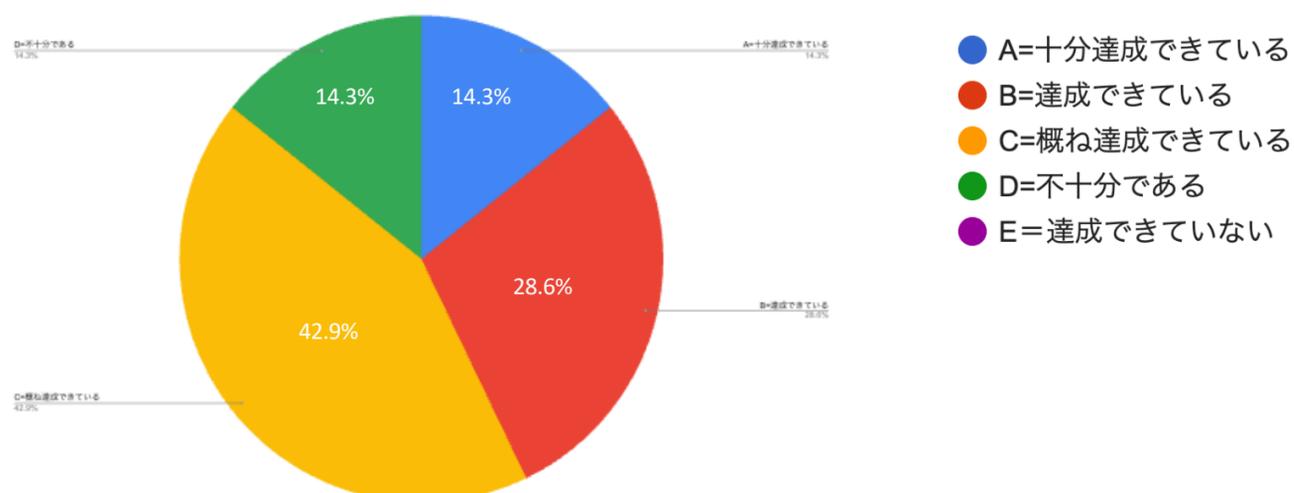
【具体的目標】

- ・心身の健康と自己管理能力の育成を図る。
- ・教育相談の有効活用を図り生徒の悩みに対応できる体制作りを行う

【具体的方策】

- ・生徒の健康診断を実施し、個々の健康維持・安全衛生面について配慮していくことで、生徒が良好な学校生活が送れるように努める。
- ・基本的生活習慣の確立を目指し、自己管理能力を高める。
- ・不登校傾向にある生徒に対しては、家庭訪問を行いながら家庭との連携を図り、生徒が学校生活を送れるよう信頼関係の構築に努める。
- ・不審者や緊急事態への対応の機能の充実を図る。
- ・地域の関連機関との連携を深め、生徒理解に努めることで、生徒を取り巻く環境の改善を図る。
- ・生徒の健全育成を図るため、社会のルールを守るよう指導する。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 学校が居心地の良い、安全な場所となるように環境づくりに努める。
- 安全健康管理については、特に問題なかったです。ただ今後、起こりうるかもしれない不審者や緊急事態への対応フローについては、しっかりとした整備・マニュアル作成などが必要かもしれないと考えています。
- 生徒が良好な学校生活を送れるよう努めてはいるが、不審者や緊急事態への対応の部分では、他の教職員と話し合いが持たれていない部分があるので、課題である。
- 生徒に健康診断を受けさせたり、新型コロナウイルス対策を実施したりするなど健康維持・安全衛生面に配慮した環境づくりを行っている。
通信制という特殊な環境なため、生活習慣が崩れる生徒もいるが、日々の声掛けや指導を行うことで基本的な生活習慣の確立を図っている。
- 教職員との関係が希薄であると感じた。次年度は担当制をひき、かつ、担当外の生徒にも関係性を深めるようにしたい。

【評価項目】 生徒募集

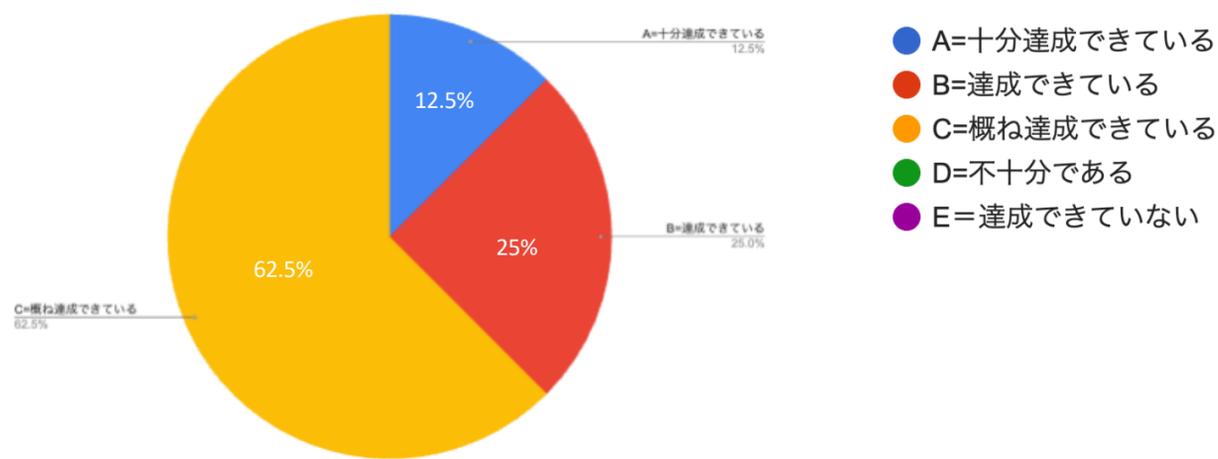
【具体的目標】

- ・ 生徒募集のための広報に努める。
- ・ 地域との連携を深めながら
- ・ 本校の教育目標を理解してもらう。

【具体的方策】

- ・ 学校案内パンフレット、ホームページの内容を工夫・充実させる。
- ・ 地域・他校との連携を深め、生徒募集の効果的な広報に工夫・努力する。また、関係する学校・機関の訪問を積極的に行い、生徒の理解に努める。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 定期的な学校訪問の機会を増やしていく。
- 校舎を知ってもらうためのホームページ作成、学校訪問、また外部相談会への出席、また今までの問い合わせ者に対する各種案内送付など、生徒募集に関する具体的な施策を実施してきました。もう少し、校舎の中身を知ってもらう各種SNSの活性化に努めていきたいと考えています。
- 学校案内のパンフレットやホームページ等、充実している。
- 昨年度も多くの方が入学相談に来られた。今後も地道な学校訪問や相談者対応の充実を図っていく。
- 中学校訪問を通じて、より認知をしてもらうように努めます。

【評価項目】 教科

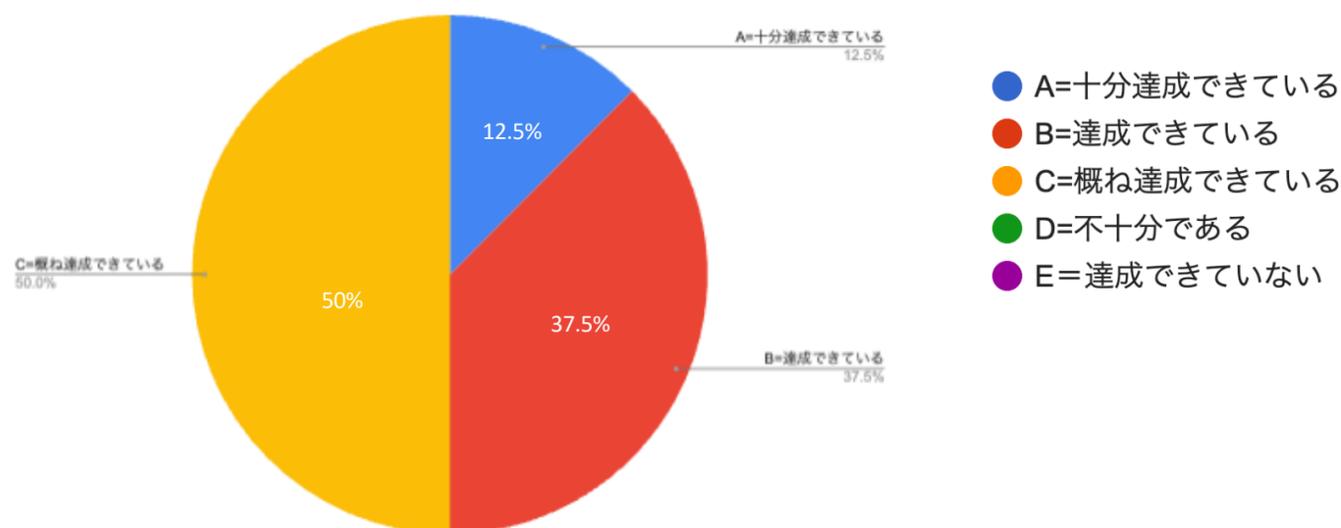
【具体的目標】

- ・ 個々の生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践
- ・ 教科の特性を生かした指導
- ・ 担当教科との連携による生徒の指導と把握

【具体的方策】

- ・ 指導内容を振り返り、次のスクーリングに生かす。
- ・ 基礎学力の定着をはかり、生徒ができることの喜びを感じさせる。
- ・ 生徒一人一人の能力・実態に合わせた教材の提供を行う。
- ・ 基本的な生活習慣を身に付けさせ、計画的に学習させる。
- ・ レポート指導や添削で生徒への理解をうながす。
- ・ 生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践を図り、進路の実現を図る。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 生徒個々に応じた指導を更に充実させていく。
- 他の教科の教員との連携も図りながら、生徒一人ひとりの能力に応じながら細やかな指導ができていると思う。
- レポート指導や添削については、十分達成できていると思います。そこで基礎学力が定着しているかとなると少し疑問が残ります。個々の生徒の能力に応じた教科指導を行ってはいますが、限られたスクーリング時数や、他の生徒の対応もあるため、教科内容をきちんと理解し、基礎学力を向上させるという点では難しい部分もあるのではないかと思います。そのため、スクーリング時とは別途、基礎学力養成の時間を確保し、しっかりとした指導を受けられる機会を作る必要があるかと考えます。
- レポートの添削や個別指導を充実させることで、個々の生徒に応じた教科指導を行っている。令和4年度より新教育課程に移行しているため、各科目の変更内容への対応が課題である。
- スクーリングの実施方法に難ありで、改善を求めました。後半は生徒の評判も良くなりました。

【評価項目】 1年生

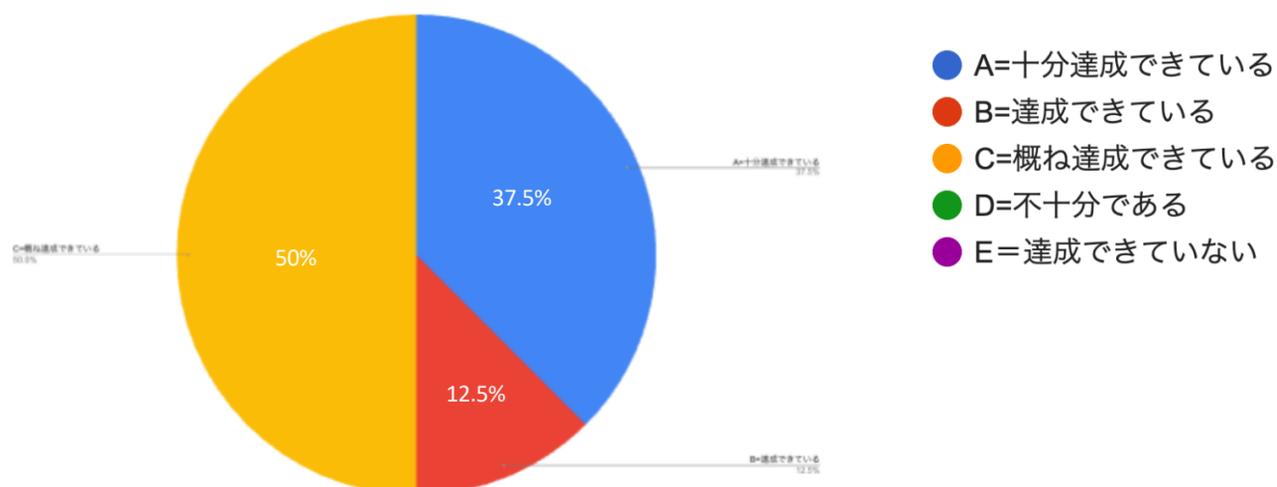
【具体的目標】

- ・ 基本的生活習慣の確立と学習活動の定着化
- ・ 学習環境作りの推進
- ・ 多様な生徒への配慮

【具体的方策】

- ・ 自己の進路目標を設定し、自分に向き合う姿勢を育成する。その中で自信を持たせるような環境作りを目指す。
- ・ 通信制のシステムの中で、個別指導をきめ細かく行う。
- ・ 場をわきまえた行動がとれるような学習の環境作りを施す。
- ・ 体験学習や学校行事への積極的な参加を促す。
- ・ 生徒の様々な状況を把握し、各生徒に適切に対処できるように心がける。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 特に積極的な声掛けを続けて、登校しやすい環境づくりに努める。
- 1年生全員が、履修した科目全ての単位修得が出来ました。進路目標についても、個々の対応の中で、少しずつ意識し、進んでいくことが出来ています。後期からは学校行事や、校外活動への参加も増えてきており、現状では問題なく成長しているように思えます。

- 慣れない学校生活の中で、どのようにスクーリングやレポートを進めていくのかテストに向けてどのように勉強すべきか等、それぞれのペースを大事にしながら進めている。
- 新入生は環境が変化し、緊張している生徒も多くいるため、特に気を配って対応し、早く学校になじんでもらえるように接している。
- 特別活動を多く実施、教員の声掛けもあって最後は多くの生徒が自ら参加を希望した。次年度は校外学習を実施したいと考えるので、この雰囲気大切にしていきたいと考える。

【評価項目】 2年生

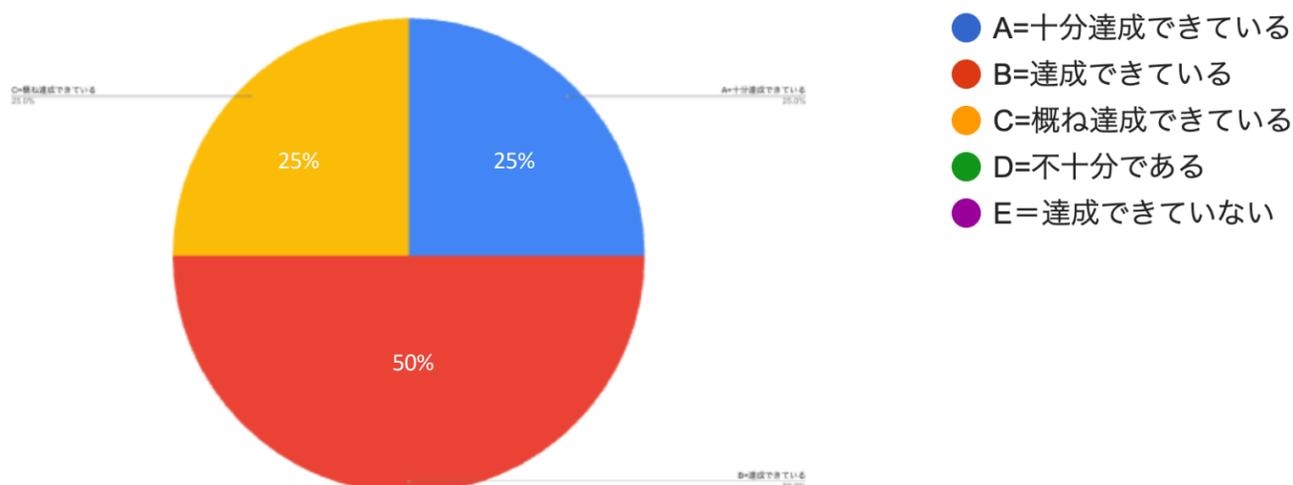
【具体的目標】

- ・ 学習の習慣化の定着による学力の向上
- ・ 進路意識の向上を目指す。
- ・ 学校行事への積極的参加

【具体的方策】

- ・ 個別指導を通して生徒の自覚を促し、スクーリング・出席率・レポートの提出率の向上を目指し、学力の向上を図る。
- ・ 悩みを抱えている生徒の情報把握・生徒理解に努め、適切な対応に心がける。
- ・ 進路の情報収集に努め、進路目標を持たせる。
- ・ 学校行事への参加を呼びかけ、友人との交流を図る。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 中だるみしがちなので、学習・進路への意識づけを充実させていく。
- 概ねできているが、3年生になって慌てないように、進路を意識させながらレポートやスクーリングを進める。
- 一名の生徒を除き、全履修科目の単位修得を行うことができました。進路についても、明確な目標を持つものが多く、スムーズに進めているのではないかと思います。ただ履修相談で修得すると決めた科目の中で、一部、レポート作成が難しい教科があり、単位修得を諦めかけた生徒もいたため、生徒の学力と科目特徴、今後の進路をしっかりと把握したうえでの履修提案が必要であると感じました。
- 近年、早い時期から自身の進路に興味を持つ生徒が多いため、オープンキャンパスへの参加を促すなどの進路指導も行っている。
今後の課題としては、気の緩む時期でもあるのでそこに注意し生活指導・学習指導を行っていくことがあげられる。
- 担当者の積極性が功を制している。このまま続けていきたいと考える。

【評価項目】 3年生

【具体的目標】

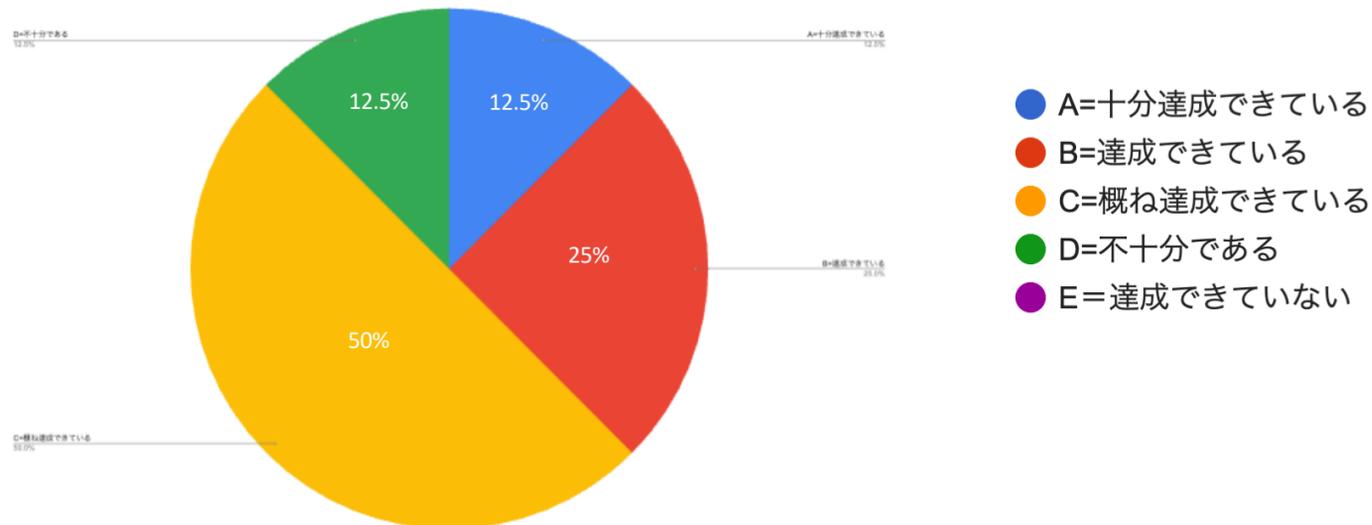
- ・ 単位取得の徹底と卒業への意識づけ
- ・ 進路希望の実現
- ・ スクーリングや校外学習への積極的な参加による学校生活における充実感の向上
- ・ 学習意欲の持続・学力の向上
- ・ 進路指導の充実

【具体的方策】

- ・ スクーリングや面談を通じて学習指導の徹底を図り、単位取得を促し、卒業への意欲を高める。そのためにも、生徒や家庭との連絡を密にとり、三者の思いを共有する。
- ・ 将来に向けての動機付けを行い、進路に対する意識を向上させる。
- ・ 経験から学ぶ体験学習をはじめとした学校行事への参加を呼びかけ、地域と学校との一体感を味わわせる環境づくりに努める。

- ・個別面談あるいは個人学習状況表の確認などで、生徒のレポート提出やスクーリングの参加状況を把握し、生徒の卒業を確実にを行う。
- ・常勤・非常勤教員と連携し、生徒一人ひとりに応じた適切な学習・進路指導に努める。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 卒業に向けて、学校生活の集大成になるようサポートを充実させる。
 - 卒業に向け単位修得は絶対ながらも、受験や就職に向けプラスアルファでできることを勧めていく。
 - 進路については、全員が大学・短大・専門学校・就職と決定できたなかったことが課題として挙げられます。高校卒業がゴールといった認識から、卒業後の進路を鑑みた指導やアドバイス、進路情報の提示や学習計画の提案などを、もっと積極的に行うべきではないかと思います。
 - 最終学年としての学習指導や、進路が未定の生徒にはオープンキャンパスへの参加や進路冊子の閲覧を促すなどの進路指導を行っている。
- 今後の課題としては、卒業し社会人になることを意識させ、生活指導・学習指導を行っていくことがあげられる。

【評価項目】 事務関係

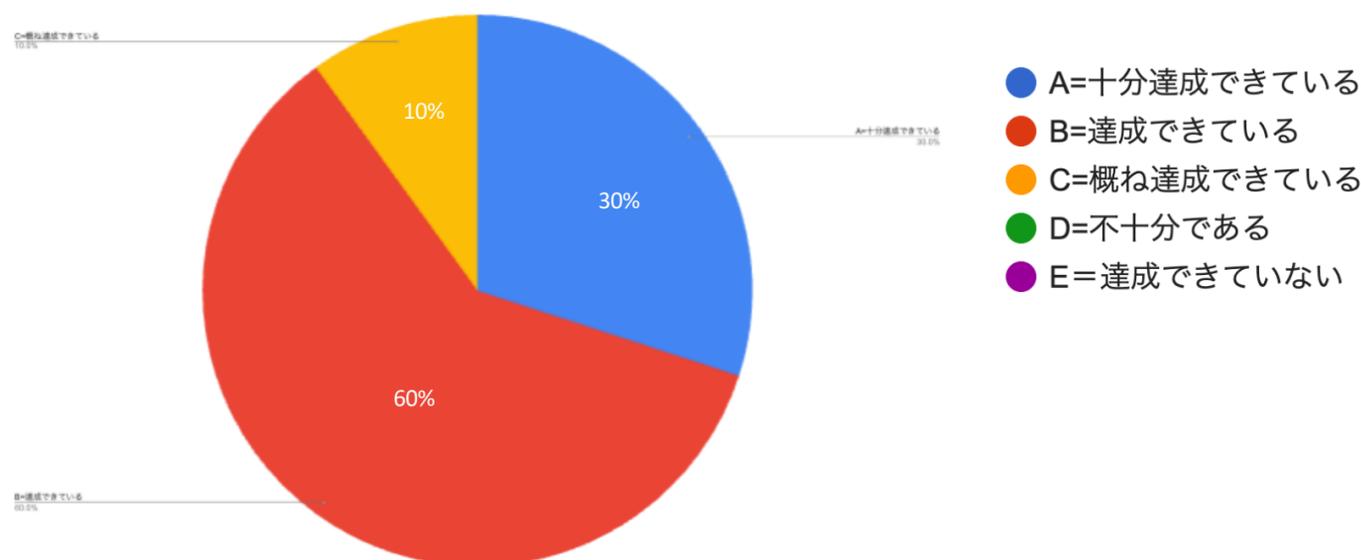
【具体的目標】

- ・ 生徒、保護者からの依頼文書等の対応を適切に行う。
- ・ 関係機関との信頼関係の構築を図る。
- ・ 学校業務が円滑に図れるよう心を配るようにする。

【具体的方策】

- ・ 学割や定期、願い届出等に対する処理を適切に行っていく。
- ・ 関係機関との信頼関係を築きながら、必要となる文書の作成や生徒・保護者への配布などを適切に行うようにする。
- ・ 学校業務を行う上での環境の整備に心がける。また、学校への問い合わせ等の外部との対応も的確に行うようにする。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 外部との連携を取りながら、引き続き真摯に対応していく。
- 事務関係においては、特に問題ありません。
- 適宜できていた。引き続き丁寧に進めていきたい。
- 各種証明書等の発行・送付の対応などの業務の効率化を図ることが課題である。
- 全く問題なく処理がされている。担当者がきちんと対応されている。
- ミスのないよう迅速かつ丁寧な処理を心掛けます。

- 外部との連携を取りながら、引き続き真摯に対応していく。
- 生徒・保護者から依頼のあった証明書発行や支援金の申請などは、細心の注意を払い、ケースごとに適切な取り扱いを心掛けている。また、外部からの問い合わせや関係機関との連絡も誠意を持って対応し、良好な関係を構築できるように心掛けている。
- 年々増加する生徒数と新規学習センターの開設により業務量の増加が見込まれるが、一つ一つの業務を丁寧に、適切に行えるよう気を配りたい。